

小学4年生になったら、新聞を毎日30分以上読もう。100歳過ぎまで新聞を毎日読み、自分で考える力と批判的思考能力をしっかりと身に着けよう

開倫塾  
塾長 林 明夫

**Q 1 : そもそも、新聞とは何ですか。新聞は何のためにあるのですか。**

A : (1) 社会で何が起きているか、真実を読者に伝えるのが新聞です。  
(2) 身近な地域社会、日本、世界でどのようなことが起きているのか、社会で起きていることは何かを、特に、これは問題だ・おかしいのではないかと新聞社が考えた真実を、読者に正確に伝えるのが新聞の役割です。  
(3) 「新聞は社会の番犬(WATCH DOG)」です。「ここがおかしいぞ」と「ワンワン」吠えて読者に伝えるのが新聞です。

**Q 2 : 新聞社は、どのように真実を読者に伝えるのですか。**

A : (1) まずは、新聞記者の皆さんが、あちこち歩きまわって「取材」をし、「取材」をした内容を「5W1H」の形で「記事」にまとめます。記者の皆さんが「記事」にまとめたものの中で、編集者が読者にとって一番大切なものと考えた「記事」から、その日の新聞に掲載します。これが新聞です。  
(2) 新聞を発行するのは新聞社です。新聞社が発行した新聞を、お金を出して購入するのが読者です。新聞はだれでも発行できますが、政府や自治体からの補助金は1円も出ません。政府や自治体から1円でもお金を貰ったら、政府や自治体のおかしな点を「ワンワン」と大きな声で読者に知らせることはできないからです。読者からの購読料と、広告料だけで成り立つのが新聞です。  
(3) 名誉棄損(きそん)や誹謗(ひぼう)中傷はいけませんが、新聞社がよく調べて、読者のために必要と考える真実を自由に報道できるのが新聞です。これを「報道の自由」といい、日本国憲法 21 条が規定する基本的人権「表現の自由」の一つとされています。日本は、全国紙、地方紙、専門紙と、全国版の新聞、地方版の新聞、業界版の新聞など様々な新聞を、朝刊、夕刊、週刊、インターネット(電子版)、FAX など様々な形で「自由」に発行できる国家です。

**Q 3 : 「5W1H」とは何ですか。**

A : (1) 記事を書く場合に、「いつ(WHEN)」「どこで(WHERE)」「だれが(WHO)」「なにを(WHAT)」「なぜ(WHY)」「どのように(HOW)」行ったかという内容をできるだけ含ませると、真実の報道ができるのではないかとという考えです。新聞記事の多くは「5つのWと1つのH」が含まれているので、「5W1H」は「新聞記事の基本」と呼ばれています。

- (2)新聞記事を読むときに、どこが「5W1H」かを時々確かめてくださいね。
- (3)そして、もしできれば、自分で話をするときや文章を書くときに、「5W1H」に気をつけながら話したり書いたりすることにもぜひ挑戦してください。何も準備せずに思い付きで話したり書いたりするよりは、お話を聞く人や読む人が「うんなるほど。わかりやすい」といつてくださるかもしれません。「5W1H」は、「論理的」「分析的」な表現の基礎基本でもあるからです。

**Q 4 : 新聞を毎日読むと何が身に着きますか。**

- A : (1)これはちょっとおかしいのではないかという、「批判的思考能力」が身に着きます。「自分で考える力」が身に着きます。
- (2)世の中で何が起きているか、世の中のことをよく知る力が身に着きます。
- (3)何よりも、文章や様々な情報を正確に、分析的に早く読む力、「読解力」が身に着きます。

**Q 5 : 新聞は学校の勉強や受験にも役立つのですか。**

- A : (1)新聞を読むことで、現在の世の中、これからの世の中の課題がわかります。そこで、なぜ勉強しなければならないかや、社会に出てから自分が行わなければならないことを考えるヒントを得ることができます。なぜ今勉強しなければならないか、なぜ進学するのかなど学ぶ意味や受験の理由を、新聞を通して考えることができます。
- (2)学校での勉強、定期試験や入学試験の勉強で一番大切なのは、文章や情報を正確に、分析的に、できるだけ早く読み解く「読解力」です。
- (3)新聞を毎日じっくり読むことで、「読解力」が確実に身に着きます。

**Q 6 : 最後に一言どうぞ。**

- A : (1)小学4年生になったら、新聞を毎日30分以上読みましょう。中学生も、高校生も、大学生も、社会人も、新聞を、毎日30分以上読みましょう。100歳過ぎまで、新聞を毎日30分以上読みましょう。
- (2)英語検定準2級に合格したら、読売新聞の英語版「JAPAN NEWS」を毎日1時間以上読みましょう。英語検定2級に合格したら、「JAPAN TIMES」を毎日1時間以上読みましょう。慣れてきたら、「JAPAN TIMES」の中に入っている「NEW YORK TIMES」を毎日1時間以上読みましょう。
- (3)英語以外の外国語を学んだら、その言語で書かれた新聞を毎日1時間以上読みましょう。
- \*このように、日本語の新聞を毎日30分以上、英語の新聞を毎日30分以上、英語以外の言語の新聞を毎日30分以上読み続けましょう。きっと素晴らしい人生を歩むことができます。つまり、「新聞を毎日30分以上読み続ける」ことは、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことにつながります。

2020年8月7日(金)8時16分